

平成30年度 ふじみ衛生組合運営方針

事務局長 荻原 正樹
事務局長 上野 洋樹

●ふじみ衛生組合の運営方針

三鷹市及び調布市（以下「組織市」という。）の行財政を取り巻く環境は、引き続き、大変厳しい状況です。ふじみ衛生組合（以下「組合」という。）では、資源物回収や効率的な発電により、歳入の効果的な確保を図りながら、運営経費の抑制に努め、組織市の健全な財政運営に寄与するとともに、安全で安定した施設運営に努めます。

クリーンプラザふじみについては、引き続き、環境と安全に徹底的に配慮し、緊急事態への対応も含め適正なごみ処理に取り組みます。

リサイクルセンターについては、日々の不燃ごみ及び資源物を適正に処理し、資源化を継続して推進するとともに、施設の適切な維持管理及び長寿命化を図るための対策を実施していきます。また、施設の将来の更新に向け、本格的な検討作業に取り組みます。

組合は、組織市約40万人市民の皆様のご生活を守る立場で、ごみ処理行政を推進するとともに、両市の環境学習の中心施設として、市民の皆様にご愛される施設づくりに努めていきます。

●職員数 正規職員 14人（うち管理職 5人） 短時間再任用職員 4人

●予算規模（当初）

一般会計 歳入 19億5,432万3,000円 歳出 19億5,432万3,000円

（歳入内訳）

単位：千円

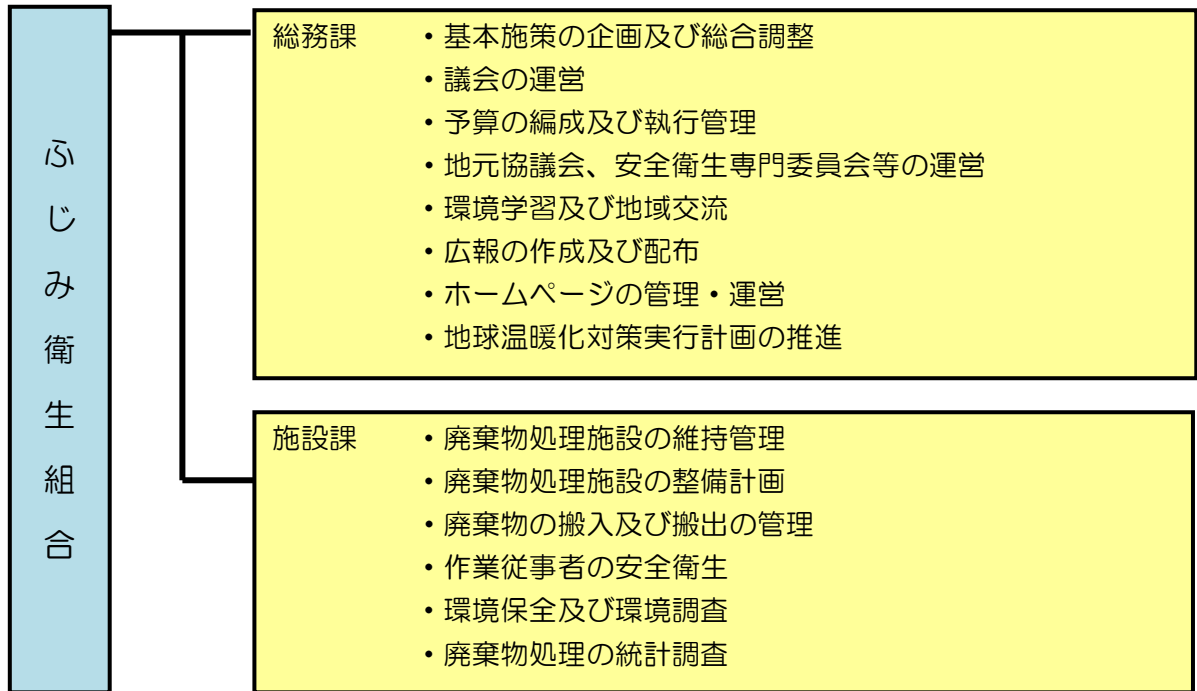
款	本年度予算額	前年度予算額	比較	構成比
1 分担金及び負担金	830,220	739,786	90,434	42.5%
2 使用料及び手数料	394,800	392,000	2,800	20.2%
3 国庫支出金	1,582	1,582	0	0.1%
4 繰越金	20,000	20,000	0	1.0%
5 諸収入	707,721	681,679	26,042	36.2%
歳入合計	1,954,323	1,835,047	119,276	100.0%

（歳出内訳）

単位：千円

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	構成比
1 議会費	6,673	6,667	6	0.3%
2 総務費	125,190	122,740	2,450	6.4%
3 事業費	1,515,983	1,399,161	116,822	77.6%
4 公債費	286,477	286,479	△2	14.7%
5 予備費	20,000	20,000	0	1.0%
歳出合計	1,954,323	1,835,047	119,276	100.0%

●組織体系図



●実施方針と個別事業の取り組み

【実施方針】

『環境にやさしく、安全・安心なごみ処理施設を目指します。』

組合の保有する「クリーンプラザふじみ（可燃物処理・発電施設）」及び「リサイクルセンター（不燃物処理・資源化施設）」を計画的に運転し、適切な維持管理を行い、安全で安定したごみ処理に取り組むとともに、作業従事者の安全衛生に取り組むなど、無事故・無災害の施設運営に努めます。

また、地元協議会及び安全衛生専門委員会を定期的に開催し、周辺住民の方々や専門家の意見を踏まえつつ、徹底的に環境に配慮した運転を行います。

排ガス測定値のリアルタイムでの公表、ダイオキシン類濃度や放射性物質濃度等の各種環境データの定期的な公表を実施するなど情報公開に努め、市民の皆様へ安全・安心な施設運営への理解を深めていきます。

さらに、事故等の施設稼働緊急時や組合に寄せられる要望等に対しては、処理施設緊急時及び要望等対応マニュアルに基づき、迅速かつ適正に対応し、説明責任を明確にし、信頼される組合運営に努めます。

【個別事業の取り組み】

※予算の（ ）は再掲

<施設運営について>

施設運営全般としては、運営事業者及び委託事業者と連絡調整を密接に図り、環境保全を最優先としつつ、効率的で安定した運転管理を行います。また、運営事業者及び委託事業者と連携して作業従事者の一層の安全衛生に取り組めます。

施設の運営管理状況等については、モニタリング実施要領に基づき、評価及び指導を行い、適切な運転監理を図ります。

地球温暖化対策実行計画に基づき、温室効果ガス排出量の削減に努めます。

組合職員が施設管理に必要な資格を計画的に取得するとともに、研修等により知識、技術の向上を図ることで、運営事業者及び委託事業者への持続した監理・指導体制を整えます。

○ごみ処理場管理費 108,727千円

●クリーンプラザふじみの運営

広域支援により受け入れを行う小金井市のごみを含め的確に搬入量を予測し、計画的な焼却処理を行います。

環境基準値及び自主規制値を遵守するなど、環境や安全に配慮した焼却処理を最優先としつつ、適正かつ効率的な売電収入の確保に努め、運営事業者の安定した経営を監理します。

ダイオキシン類対策委員会等を開催し、作業従事者の安全衛生の一層の向上を図ります。

不適正物の混入による施設の稼働停止を防止するため、搬入ごみの検査を強化します。

水銀対策については、新たな水銀制御システムを導入し効果の検証を行うとともに、新たな対応策の検討を行います。

クリーンプラザふじみの熱回収によるエネルギーは、電力や温水として組合で有効活用するとともに、余剰分については売電や周辺公共施設に供給します。

なお、ごみ処理量が施設稼働後最大の年度となる見込みのため、東京都環境影響評価条例に基づき、環境影響評価事後調査を実施します。

○運営費 854,972千円

(運営業務委託料309,246千円、売電収入相当額委託料419,491千円)

●リサイクルセンターの運営

精密機能検査に基づき、設備の定期的な更新・修繕を実施し、安定した資源物処理を実施します。

委託事業者と連携し、搬入量に応じた臨機応変な処理体制を確保します。

容器包装プラスチックについては、小型破袋機を拡充するなど、ベール品質の維持、向上を目指します。

施設の計画的・段階的な整備のあり方について、これまでの調査をもとに現状と課題を整理するとともに、組織市と連携し、事業費やスケジュールなど施設の更新に向けた基本的事項について具体的な検討を始めます。

○運営費 552,284千円

(業務委託料359,471千円、施設整備検討業務委託料6,480千円)

<環境学習の推進について>

学校の社会科見学については、組織市の学校関係部署と協力し、両市域の全小学校の児童の見学を図り、積極的なごみの減量・資源化意識の醸成を推進します。

環境学習指導員と連携し、受付・施設案内、見学内容、施設内掲示、広報等を充実するなど、環境学習機能の向上を図ります。

<啓発事業について>

ふじみ衛生組合及び組織市の広報、ホームページにより、具体的なおごみの分別、排出、処理過程などをお知らせし、継続的なごみの適正排出の市民啓発に努めます。

地元協議会など地域の市民や関係団体が交流する企画については、積極的に参加、後援します。

「エントツくん」をモチーフとしたグッズを組合及び組織市の施設で販売し、積極的に施設のPR及び市民に親しまれる施設の啓発に努めます。

<地域交流事業について>

地元協議会、地域住民、関係団体との協働によるふじみまつりを開催し、地域との交流を図り、親しまれる施設づくりに努めます。

会議室等を地域の町会、団体等に開放し、地域交流の場として施設の活用を推進します。

組合敷地内接道部を利用した花壇ボランティアによる花いっぱいプロジェクトを継続実施し、花にあふれ地域に愛される施設づくりに取り組みます。

○環境学習推進費 7,487千円

○ふじみまつり運営費 2,067千円

<地元協議会について>

定期的な会議を開催し、運転状況や環境データ、組合の運営状況などを報告・説明し、安全・安心な施設運営への理解を深めます。

定期会議は、年4～5回の開催を予定しています。

<安全衛生専門委員会について>

水銀対策など新たな課題や継続して取り組むべき事項などを検討し、さらなる周辺住民への安全を確保します。

定期会議は、年2～3回の開催を予定しています。

○地元協議会・専門委員会運営費 1,909千円